

## 5. 富士写真フイルムが提案する最強のRGB変換ソフトウェア「i-ColorQC C-Fit」

富士フイルムグラフィックシステムズ(株)

技術二部 島田永秀

### 1. はじめに

デジタルカメラの普及によって、RGB データが印刷の世界にも当たり前のように入り込んできました。そんな中、プリプレス部門ではRGB データの色変換をいかに品質よく、また、効率的に行なうかということが避けて通れない大きな課題となっています。

これらの課題を解決するために、プロファイルでの色変換をベースとしたRGB変換ソフトウェア「i-ColorQC C-Fit」をご紹介します。

### 2. RGBワークフローの実現に向けて

富士フイルムの考えるRGBワークフローとは、まずRGBの段階であらかじめ画像品質を作り込み、印刷物やWebなど様々なメディアに展開するという考えが基本となります。最終的に印刷用のCMYKデータに変換する場合、変換のターゲットとなる印刷の色基準が明確になっていることが重要なカギとなります。C-FitはこのRGBデータの最適化とプロファイルによる印刷データへの最適な色変換を行うソフトウェアです。

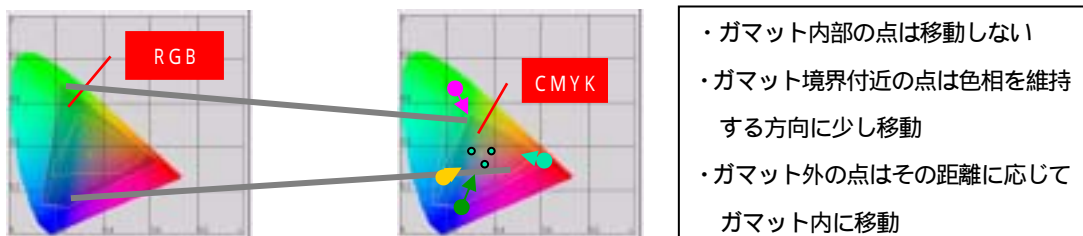
#### 「RGB RGB変換」による自動最適化

富士フイルム独自の画像最適化技術によって、人物の顔の検出、撮影時の光源推定などを行いながら、色のバランスや階調を自動補正、RGB画像を好ましいRGB画像に自動的に変換します。主に素人の方が撮影したデジタルカメラ画像のあまり良くない原稿の補正に適しています。

#### 印象一致による「RGB CMYK変換」

新たに開発した「ガマットマッピング技術」により、最適化されたRGB画像を見た目の印象を変えずにCMYK画像に自動変換します。一般の画像処理ソフトでありがちな「彩度のダウン」や「カラーバランスの乱れ」といった破綻のない「RGB CMYK変換」を実現しています。

#### 新ガマットマッピング技術(図解)



### 3. おわりに

紙面の都合上、概要を述べるにとどまってしまいましたが、C-Fit は富士フイルムの提唱する RGB ワークフロー「Colorium」の戦略的商品として、ますますお客様の使いやすい製品へと充実を図っていきたいと考えております。

連絡先：[toshihide\\_shimada@ffgs.fujifilm.co.jp](mailto:toshihide_shimada@ffgs.fujifilm.co.jp) 2006年2月1日(水) PAGE2006